



本日のプログラム

SAA: 吉田 康志 様

- 開会点鐘 (12 時 40 分点鐘)
- ローターソング「奉仕の理想」



会長挨拶

会長 舟元 英一 様

皆様こんにちは。まず、お客様をご紹介します。本日は、白山野々市保護区保護司会野々市支部より四名のお客様がお見えになっています。野々市支部会長 大島洋行様、同理事 大地原顕重様、同保護区地域部会長 北村博様、同白山野々市保護区会長宮崎昭男様です。



次に、ご報告をつつさせていただきます。かねてより、お話があった野々市市と京都市との「災害時における相互応援協定」締結の件ですが、10月5日(水)野々市市と京都市との間で結ばれることとなり、両クラブの会長、幹事が出席することとなりました。野々市市でも先ごろ市内一斉の総合防災訓練を実施し、市民の防災意識の高揚に努めているところであります。市当局では、今後は、本協定を端緒として、相互訓練への参加等も行っていきたい意向も示唆されており、ロータリクラブとしてもこのような機会を通じ一段と相互の親睦・交流が図られればよいのではないかと考えているところでございます。今後ともよろしくお願い致します。

さて、南米初の夏季オリンピックいわゆるリオデジャネイロ・オリンピックは、8月5日から21日までの17日間にわたって各競技種目にわたって熱戦と感動を沢山お届けいただき先ごろ幕を閉じました。

今回オリンピックは、連日のメダルラッシュに湧き、メダル獲得数が史上最多の41個、その中には、史上初のメダル獲得もいくつもありました。また、テニスの錦織圭選手の96年振り、陸上競技400メートルリレーの88年振りとか金藤理絵選手の女子200メートル平泳ぎの24年振り等々、その活躍は目を見張るものがありました。本当に素晴らしいオリンピックであったと思います。

ところで、オリンピックといえば、これまでもメダリスト達の数々の名言があります。例えば、柔道の谷亮子選手の「最高でも金、最低でも金」とか、マラソンの有森裕子選手の「初めて自分で、自分を褒めたいと思います。」とか、競泳の松田丈志選手の「康介さんを手ぶらで帰すわけにはいかない。」こと等でありますが、今回のオリンピックでも、例えば柔道の大野将平選手は「金メダルを取って当たり前という声が聞こえていたので、当たりのことを、当たりにやるという難しさを改めて感じました。」とか体操の内村航平選手は、「出し切りました。もう出ないところまで出し切って、取れたので嬉しいより幸せ。」競泳の金藤理絵選手は、「私は、世界記録より金メダルが欲しい。これが自分の本心。」、柔道の田知本遥選手は、「いろいろ経験して酸いも甘いも知った。苦しかったことも今日のためにあったのかなと思う。」等です。正に、極限の力を出し切った末の言葉ですので、いずれも含蓄のある言葉として心に残ります。

さて、次は、東京オリンピックです。キーワードは、「伝統と革新の共存」言うなれば、伝統があ



る中にも、常に変化・革新を続けている東京のライフスタイルをイメージしたものだそうですが、是非、成功させていただきたいと思っています。

■ 本日のご来訪者 白山野々市保護区保護司会

- | | |
|-------------------|----------|
| ・野々市支部 会長 | 大島 洋行 様 |
| ・野々市支部 理事 | 大地原 顕重 様 |
| ・野々市支部 保護区地域部会長 | 北村 博 様 |
| ・野々市支部 白山野々市保護区会長 | 宮崎 昭男 様 |

お客様挨拶

白山野々市保護区保護司会 野々市支部 会長 大島 洋行 様

保護司は社会を明るくする運動等を頑張っています。これはロータリーの奉仕の理想と相通ずるところがある面です。本日は意見交換会の場を設けていただき、感謝しています。私たちの活動での苦労や体験を知っていただき、今後の奉仕活動のお役に立てていただくと幸いです。



幹事報告

織部 秀一 幹事

- ・ 本日例会終了後にコディアックで保護司会の皆様と意見交換会を行います。対象者はお出席をお願いします。
- ・ 来週 9 月 7 日は嘉門玲子様のお話です。



委員会報告

奉仕プロジェクト委員長 本田 英夫 様

お盆明けにご案内しておりました交換留学生についてですが、1名お申し出がありました。金大附属高校 1 年の女子です。この方をクラブとして推薦し、申請します。よろしくをお願いします。



第 1 回 家庭集会報告

第 1 班 クラブ管理運営委員会①

発表者：田島 秀之 様

下原様、吉田(康)様、長門様、兼田様、柳川様、
嘉門様、田嶋様 (7 名)

8 月 22 日(月) 19:00～ 金沢国際ホテル 鉄板レストラン 高尾

親睦行事を盛り上げていこうということが話し合われました。その中で、これから若い方や女性の方にも入会をしていただきたいという





流れの中で、親睦行事にバンケットレディが必要かどうかという話にまで及び、参加者のうち 6 名までが不要なのでは？という意見でした。長いロータリークラブの慣習ですが、時代にあわせて変化をしていかなければいけない時期に差し掛かっていると感じている方もいるということです。

第 2 班 クラブ管理運営委員会②

発表者：田島 秀之 様

立石様、榎本様、瀬村様、元尾様、新保様、松岡様 (6 名)

8 月 26 日 (金) 18:30～ 金沢国際ホテル 加能



クラブ管理運営委員会は経験豊富なメンバーがたくさんいるので、可能な限り積極的に親睦行事に参加し、まとめていこうと話されました。春には観桜会がありますが、京都城陽ロータリークラブ様と合同で開催ができないか検討していきたいと思っています。

第 3 班 奉仕プロジェクト委員会

発表者：清水 良典 様

本田様、山田様、柳生様、中村(啓)様、清水様、金子様、
中川様、齊藤様 (8 名)

7 月 29 日 (金) 18:30～



今回は委員会単位と言う事で本田委員長から基本方針についてお話がありました。

会員の人生、職業経験、知恵等を活かした地域や青少年育成、社会貢献等の活動を行う事により、地域の方々に関心を持たれる様な事業に取り組んで行く。野々市市等との協賛事業に取り組み、ロータリー活動を地域に発信しロータリーの魅力を広めて行きたい。

この方針を元に 6 つの活動計画が話されました。

活動計画

- 1、フレンドリーコンサートの支援
- 2、「水源の森づくり」に加え手取川水系の水源、伏流水の現状と課題を探る。
- 3、地域社会の変化、課題などを中学生、高校生を対象に会員卓話ができるよう関係各位の方々と協議する。又、交換留学生の制度を活用し青少年育成支援を行う。
- 4、地域に保護司として地域社会貢献活動をされている方々とのタイアップによる保護観察を受けている青少年への教育のお手伝いが出来ないかを検討していく。
- 5、国際奉仕、交流等を視野にグローバル補助金活用の可能性を協議していく。地区の委員会にも積極的に参加する。
- 6、ロータリーの本質を学び魅力を再確認し一人・人が会員増強の発信力を高める。年 2, 3 回講習一会を計画する。

以上の各計画について話し合いました。

グローバル補助金の活用について中村さんよりラオスでの活動経緯、RC 活動の発信についてはマスコミの方々との懇親会など広報委員会の方々と連携して行く。最後に中川さんより熊本へボランティア



ィアに行かれた苦勞話がありました。

第 5 班 広報委員会

発表者：サブリーダー 北潟 克輔 様

中村(寛)様、北潟様、吉田(哲)様、矢原様、松井様、西村様、
8 月 24 日(水) 18:30～ 「割烹いけ森」



中村寛二様のご紹介でミシュラン一つ星の割烹でワインや食事を楽しみながら行いました。

日本では何かをアピールすることを広報というので、紛らわしいのですが、ロータリーという広報とは地域社会の人々に理解していただき、最終的にファンになっていただくことです。ですからわれわれは地域社会の皆さんが目にするメディアに採用されるように情報を集める努力をしなければなりません。一般的に企業広告の場合は主観的なのですが、ロータリーの広報は客観的なものになります。そのあたりを念頭におき少し意識していかなければなりません。各委員会の皆様にもいろんなメディアに情報発信をお願いしていきたい。利害関係者との信頼関係を築くことが私たちの活動を広く世に知ってもらうために重要です。

第 5 班 会員増強委員会

発表者：サブリーダー 濱 順次 様

織田様、濱様、松田様、石澤様、竹澤様、宮川様、千田様 (7名)
8 月 19 日(金) 18:30～ 「割烹 みや川」



基本方針は増強活動と会員研修を積極的に取り組む。昨年の新会員候補が 7 名で 1 名の入会実績だった。→候補者を増やすことが必要。そのためには、、、

「野々市ロータリークラブの魅力を全会員が語れるようにする」

その方策として

- ①会員自身がロータリーを理解する → 会員研修を定期的に (広報委員会と協力)
- ②ロータリーをわかりやすく説明できるようなツール (冊子) を作成
 - ・活動要覧ダイジェスト版
 - ・A4 版の簡易のリーフレット

結論として (永遠のテーマかも) 増強委員が中心となって全員で増強に取り組む。忘れてはいけないのが、退会防止に努める活動 (親睦が大事、みんなが気にかける)。

第 6 班 R 財団・米山委員会

発表者：リーダー 中村 俊昭 様

中村(俊)様、上田様、中島様、山口様、舟元様
8 月 24 日(水) 18:30～ 「笑宿」



ロータリー財団と米山記念奨学会はまったく趣旨の違う異質のものです。ところが一緒に活動しているのはお金を集める部門だからです。会員の皆さまにはご協力いただくにあたり、活動に納得



していただかなくては大変なことになってしまいます。

ロータリー財団はポリオ撲滅に力をいれています。身近なものでは当クラブの森づくり活動にもその財源を提供していただいています。一方、米山記念奨学会は米山梅吉氏が 1957 年に貧しいアジアの国々の学生を日本で十分に勉強させてあげられるように設立したものです。学生さんには帰国後に両国の架け橋になっていただいています。前年度は全国で 730 名の奨学生がいました。

委員のメンバーが皆様のごところにご寄付のご協力をお願いに行かせていただく場合があると思いますが、その節は快くご協力くださいますようお願い申し上げます。

総括

副会長 竹澤 勝志 様

当クラブでは過去には年度初めに各委員会で食事をしながら、一年間の活動内容を打ち合わせていました。今年は家庭集会を 1 年で 4 回開催することを決めていましたが、最初から第 1 回は委員会単位での開催の心づもりをしていました。この機会が活発な委員会活動のためにお役に立ったならばとても嬉しいです。



ニコニコボックス

齊藤 邦博 様

卓上の花：スプレーウィット 花言葉：純潔

卓上の花：榎本様、西村様



- 舟元 保護司会の皆様、ようこそお越しいただきました。意見交換会よろしくお願ひします。
- 本田 保護司会の皆様ようこそ。本日はロータリーの例会を愉しんでください。各委員会報告・熱意が感じられます。
- 石澤 濱さん、発表ありがとうございます。
- 松田 家庭集会報告、ご苦労様です。
- 濱 先日の家庭集会お疲れ様でした。
- 中川 8 月も最後の日となりました。やっとスマホを手に入れました。
- 吉田哲郎 第 4 班の家庭集会の皆様、先週はありがとうございます。とてもためになる話を聞かせていただきました。北潟さん発表ありがとうございます。
- 西村 保護司会の皆さんご苦労様です。
- 齊藤、松岡、千田、上田、新保

本日の収入額 15,000 円 累計 164,500 円

■閉会点鐘 (13 時 30 分)

写真：中川